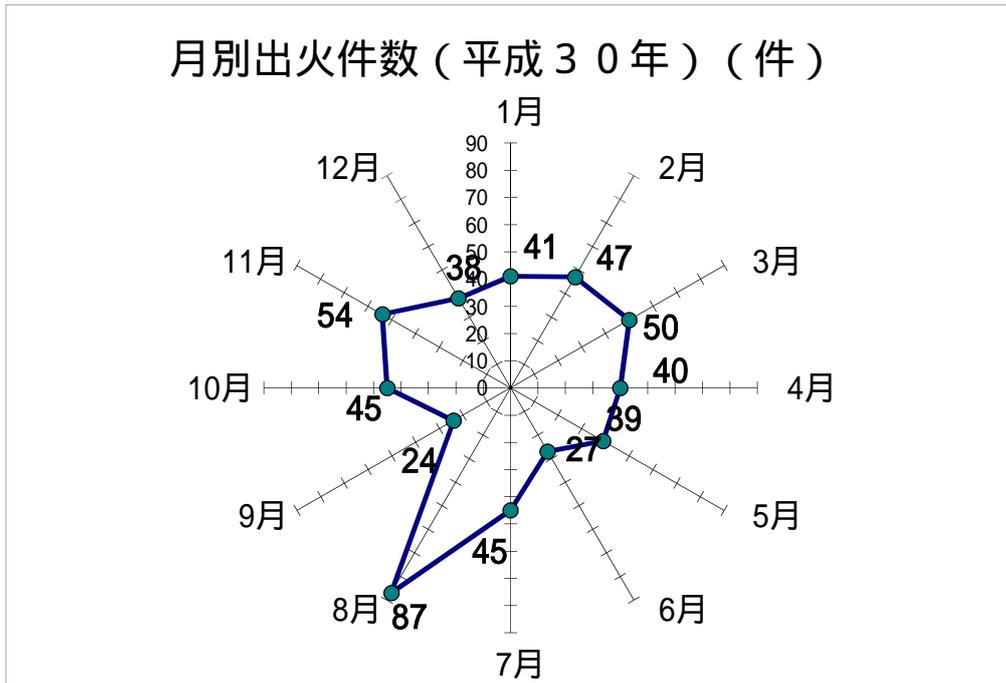


火災発生の概況



1 出火件数について

平成30年中の長崎県内における火災は、火災総数537件、損害額1,320,663千円、火災による死者数27名、負傷者数57名、罹災世帯数215世帯、罹災人員537名でした。

これを、前年と比較してみると、出火件数では58件増加し、死者数では前年より3名増加、損害額では503,305千円の増加となっています。

火災種別の内訳をみると、建物火災が225件で全火災の41.9%、次いで林野火災が38件(7.1%)、車両火災が37件(6.9%)、船舶火災8件(1.5%)、その他の火災が229件(42.6%)でした。

2 火災による死者の状況

火災による死者は27名で、前年より3名増加、負傷者は57名で前年より11名の減少となっています。

3 出火原因

出火原因では、第1位は「たき火」(130件)、第2位は「放火(放火の疑い含む)」(39件)、第3位は「たばこ」(32件)、第4位は「コンロ」(30件)、第5位は「電灯電話等の配線」(28件)となっており、これらで全体の48.2%を占めています。

(県消防保安室)